

宝船展on the net 12月23日(金)～SMFアート長屋 (<http://artnagaya.jp>) 公開中

宝船展@MOMAS 2017年1月11日(水)～15日(日) 埼玉県立近代美術館 一般展示室1

「宝船展」はインターネット上での「on the net」展と埼玉県立近代美術館での「@MOMAS」展がセットになった初夢企画です。さまざまなアートの分野でユニークな活動を展開している関係者の交流・連携の場として継続してきた「SMFラウンドテーブル」から発展して、「SMFアート長屋」が生まれ、「宝船展」がはじまりました。ネットとリアル双方の空間を活用しながら、プロジェクトの提案あり作品展示ありパフォーマンスあり、アーティストトークありの場を設け、アートに関心を抱くさまざまな方々が集い交流し、エネルギーやアイデアを交換し、新たなたくらみが生まれるプラットフォームと



@MOMAS会場でのアーティストトーク

SMFアート寺子屋—アートプラットフォーム形成のためのメタデザインⅣ アートすることの意味？

2017年1月15日(日) 埼玉県立近代美術館 講座室

「アートプラットフォーム形成のためのメタデザイン」というシリーズも4回目となりました。今回は、作曲家で富士電子音響芸術祭ディレクターの吉原太郎さん、東京都現代美術館学芸員の藪前知子さん、音楽学者で東京芸術大学准教授の福中冬子さんにご登壇いただきました。

富士電子音響芸術祭は人里離れた開催地で夜を徹して電子音響音楽をとことん楽しむための音楽祭で、アウトドアライブや全国からの出店、映像演出や会場のデコレーションなど、異分野の総合的な協働による音楽祭の実施について詳しくお話をいただきました。

藪前さんは「誰のアート？ アクチュアリティの共有」というテーマでお話をいただき、2003年の指定管理者制度制定によって現代美術館も入場者数を強く意識する必要に迫られ、それに対応する展示を受け入れたり、2011年の東日本大震災以降に「アートの力」という言葉が多用された背景のなかでのさまざまな現代美術展の変容についてご紹介いただきました。

福中冬子さんは、音楽と社会についてお話し

なることをめざしています。

第2回の今回は「旅」をテーマに、ネット展、リアル展とも20組のアーティスト、ユニットが参加しました。《ガリバー旅行記》から《旅するグルグルペインティング》、《記憶の旅》、…、《月に会いに行く》まで、「旅」にまつわるさまざまな夢をそれぞれの視点から紡ぎ出し、報告・提案し、刺激にみちた交流の場となりました。ギネスブックものの巨大藁紙や《風のカタチ》と題した石積みベンチの原寸大模型の展示もありました。会場でのプチコンサート(トワトワ)やSMF学校の補講として「さいたまトリエンナーレ2016」を振り返るミーティングも開かれました。このプラットフォームからいくつの夢が結実していくのか、今後が楽しみです。(来場者：計529名) 青山恭之(運営委員)

No.	作者名・ユニット名	企画案・作品名
1	根岸和弘	脱フレーム ガリバー旅行記 挿絵より
2	矢花 俊樹	旅に誘う虫たち
3	SYUTA(三友周太)	きたうらわ色彩工業所(たびするグルグルペインティング)
4	西尾路子	604のたまご ものがたり '16-規矩-33(Baked Egg) miniature model
5	内野知樹	ムサン/ジャーニー
6	日本庭園協会埼玉支部	風のカタチ(野面石 石積みベンチ)
7	つつみよしひこ	Implementation of image
8	吉田富久(社会芸術)	TANBOプロジェクト*
9	中村元	SMFおかわりプロジェクト記録より
10	三木祥子	eARTh #17-01
11	浅沼奨	きたうらワン プロモーションビデオ
12	中村隆	Yes We Can プロジェクト
13	浅見俊哉	「呼吸する影」ツアー SMF学校補習期間
14	suzu	胡蝶のゆめ / Shines Birth / pure / 幻想曲
15	石上城行	記憶の旅 一林の中の象— 山の記憶
16	古川勝紀	旅がいいか、昼寝がいいか
17	みゃうか	月に会いに行く / ひとりにひと月
18	菱田祐一郎	RECORD_R02_Tour
19	田中清隆	遊影シリーズ
20	トワトワ	*1月14日 会場でのプチコンサート(@MOMAS展に友情出演)
21	栄東高校美術部	全カライブペインティング(on the net展のみ参加)

いただきました。なかでも、90年代アメリカから始まった、音楽史を創作史としてではなく、歴史を構成していく社会の動きとともに音楽を捉える必要性についてお話いただきました。ディスカッションでは、教育や表現という垣根を越えたアートの拡張に際しての公共性の在り方とアート本来の役割とがどのように相互作用しつつ発展可能かという内容の濃い討議となりました。(参加者：42名) 柴山拓郎(運営委員)



あなたと どこでも アート／おかわりプロジェクト 委員名簿

■実行委員

委員長：建畠哲(埼玉県立近代美術館 館長)
委員：青木穂(ジェイコムさいたま さいたま南局 局長)、稲葉康久(うらわ美術館 館長／委員代理：星野 務 同館副館長)、芋川 修(埼玉県教育局市町村支援部生涯学習文化財課長)、岡部秀子(川越市立美術館 館長)、佐藤定夫(東京電機大学理工学部教授・情報システムデザイン学系長)、高橋幸次(日本大学藝術学部教授)、高橋弘行(NHKさいたま放送局放送部長)、西勝啓祐(入間市博物館ALIT 館長)、橋本 淳(NHKさいたま放送局放送部長)、平本一郎(テレビ埼玉代表取締役社長)、福田哲也(埼玉県県民生活部文化振興課長)、本田貴侶(埼玉大学教育学部名誉教授・学校法人峯徳学園理事)、三浦清史(Saitama Muse Forum 代表、建築家)、山下浩文(川口市立アートギャラリー-ATLIA 館長)、米山士郎(埼玉新聞社編集局報道部副部長)

■運営委員

青山恭之(建築家／うらわ建築塾 代表)、石上城行(埼玉大学教育学部 芸術講座 美術分野 准教授)、奥野由利(CAF.N事務局／画家、造形教室主宰)、小野寺茜(川口市立アートギャラリー-ATLIA 美術専門スタッフ)、北原立木(ヒアンスハウスの会代表／文芸誌「孤帆」主宰)、草野律子(建築家・アルテクルブ事務局)、柴山拓郎(作曲家／東京電機大学理工学部 准教授)、谷平絵美子(川越市立美術館 主幹)、津久井浩一(入間市博物館ALIT 学芸員・社会教育主事・学芸担当副主幹)、藤井香(埼玉県舞踊協会理事／彩のくに創作舞踊団 主宰)、矢花俊樹(埼玉県立近代美術館 エデュケーター)、脳元重彰(うらわ美術館 指導主事)、渡辺恭伸(須田勉太研究会 理事)

■協力委員

浅見俊哉(アーティスト／KAPL代表)、大澤加寿彦(ミュージシャン)、菊澤伸悦(有限会社ファインズ代表)、木村昭司(デザイナー／デザイン工房さら代表)、小宮幸子(埼玉県立近代美術館フレンド広報委員)、高橋博夫(文芸誌「孤帆」)、『梓』、『第3次同時代』同人)、滝口美紗紀(社員ライター)、長沢晋一(美術家／CAF.N会員)、中村元(写真家)、中村隆(デザイナー／ 有限会社アームズ代表)、野本翔平(SEED代表／パフォーマンス・アーティスト／行田市議)、柳原敬(会社員／KAPL会員)

■事務局 埼玉県立近代美術館内

事務局長：高柳正行(埼玉県立近代美術館 副館長)
事務局員：大越久子(同 主席学芸主幹)、斎藤晃(同 総務担当主事)、菖蒲澤侑(同 非常勤職員)、田沼康雄(同 管理担当部長)、中村誠(同 主任専門員兼学芸員)、村上愛(同 総務担当課長)

あなたと どこでも アート／おかわりプロジェクト 連携・協力機関・団体、協力者

■主要連携機関

入間市博物館ALIT、うらわ美術館、川口市立アートギャラリー-ATLIA、川越市立美術館、埼玉県立近代美術館、SMF(Saitama Muse Forum)

■協力機関・団体

アートプラットフォーム、(有)アームズ、(株)アライ、アルテクルブ、イオン北浦和店、石原誠美堂、入間華道連盟、うらわ建築塾、エル・ボエタ1・2、大宮駅観光案内所、カフェ&ギャラリーあつぷるはうす、KAPL(コシガヤアートポイント・ラボ)、川口信用金庫北浦和支店、北浦和西口銀座商店街振興組合、きたうらワン・シスターズ&ブラザーズ、株式会社キャベツ・ネット、ギャラリーゼフィール、NPO法人ぎょうだ足袋蔵ネットワーク、行田ワクワクcity、グルグルハウス高柳、社会福祉法人こぎげんらいつ、公益社団法人さいたま観光国際協会、埼玉県建築士会さいたま北支部、埼玉県舞踊協会「コレオグラファーの目」実行委員会、埼玉県立近代美術館フレンド、公益財団法人さいたま市公園緑地協会、さいたま市民活動サポートセンター、さいたま市民会館おおみや、さいたま新都心駅観光案内所、埼玉新聞社、さいたまトリエンナーレ

2016実行委員会、埼玉大学教育学部芸術講座 石上研究室、栄東高校美術部、三番町ギャラリー、SEED、CAF、ネビュラ、JR大宮駅、社会芸術/ユニット・ウルス、新木場倶楽部、ダンスユニット「転々」、中華楼、デザイン工房さら、東京電機大学理工学部情報システムデザイン学系 作曲・音楽文化研究室、公益社団法人日本建築家協会埼玉地域会、日本庭園協会埼玉県支部、野田双子織研究会(入間市博物館ボランティア会)、ヒアンスハウスの会、水川神社、水川だんご本店、BIS、ファーム・インさざ山、フナノ保存会、牧楨舎、NPO法人見沼ファーム21、(株)もといち、横内酒店、若松湯

■協力者

愛智伸江、浅沼奨、安部大雅、新井俊雄、飯田瑠璃子、飯島早久加、池田幸一、石井国義、磯益子、井出信男、井上尚子、井上唯、今井潤子、今井伸治、内野知樹、生形三郎、江積志織、江間篤子、遠藤初穂、大河原勝、大場さやか、岡嶋聡美、岡村峯人、奥平聡、小野寺恵美、小野養豚ん、海保文江、榎川真理子、上条英、川野彩路、カワムラアツリ、川村剛、菅野秀明、日下芝、國武建明、熊谷薫、見目由香、小池かこ、國分千紘、小宮貴史、小宮幸子、小山衣美、さいたまトリエンナーレ2016ディレクターチーム(芹沢高志、日沼裕子、三浦匡史、小林夢実、鈴木萌美、蜷川小百合、日沼智之)、斎藤勝吾、桜井陽、佐々木治子、佐々木美知子、サミール・ラビープ、篠原千香、菅原浩子、菅原史也、島田春奈、島田由美子、SHUTA(三友周太)、信山恵理子、suzu、鈴木健太、鈴木奈美、染谷美、高野大夢、高橋純一、瀧澤花織、多田満、田中清隆、田中文太、タニガワハナコ、田村香織、田村佳可、つつみよしひこ、坪井孝雄、出店久夫、東京電機大学理工学部情報システムデザイン学系作曲・音楽文化研究室(新井聡真、飯島拓也、石川凌山、小田祐樹、木曾棕太、趙晰祺、高橋泰生、高山裕、陳穎恩、古谷勇人、樹元勇樹、茂木龍朗、和田義智)、都宮一充、トワトワ、中川和佳、中澤宏美、永田博子、長野恒、中村春子、西尾路子、沼野雄司、根岸和弘、野口真理、野口竜平、野村光宏、萩原知美、長谷川千賀子、長谷川律子、初山逸平、濱野峻行、早川果歩、林文彦、原田奥州、菱田祐一郎、平野淳子、福田麻衣、福中冬子、藤井彩加、藤原昌樹、古川聖、古川勝紀、別城拓志、間島領一、増田拓史、松成容子、松室ひかり、松本秋則、松本一哉、松元日奈子、三木祥子、三木照男、水村雅啓、南照子、みゃうか、宮崎清、宮地彩百合、宮下貴史、明神和子、村尾拓美、森山哲和、八木幸二、柳井嗣雄、藪前知子、山浦修治、山口愛、山田和弘、山田祐奈、由雄正恒、吉川信雄、吉田里美、吉田富久一、吉原太郎、渡辺範久

「あなたと どこでも アート／おかわりプロジェクト」 報道記事ほか

■新聞・雑誌等

・「あなたも埼玉で音楽家になれる!? ワークショップで現代音楽を作ってみた!」そうだ埼玉.com 2016年7月15日(未衣子)
・「10/16、iPadで描いた絵が音を立てて動き出す 埼玉県立近代美術館 MUCCA」サンケイリビング新聞社「リビングさいたま」 2016年8月27日号
・「集まれ アートに興味ある人(とくいわざ)30受講できる SMF学校開校」毎日新聞 2016年9月15日(砂押健太)
・「わら塚フナノ知って さいたま見沼田んぼ 土器ダクトを製作」埼玉新聞 2016年9月18日(タウン記者・三好あき子)
・「大宮駅前に謎の看板を持った集団が登場! 彼らは一体何者なのか?」そうだ埼玉.com 2016年9月28日(未衣子)
・「〈市民会館おおみや〉に巨大なエアドームが! 大宮駅の徒歩圏内でさいたまトリエンナーレを楽しもう」 2015年9月29日(未衣子)
・「北浦和で 大宮で 見沼で! この秋はアートを満喫!」埼玉県立近代美術館ニュース「ソカロ」 2016年10・11月号(中村誠)
・「スタンプラリーもあるよ(北浦和おかわり芸術祭)」サンケイリビング新聞社「あんふあん」 2016年11月号(10月7日配布)
・「リアルな豚で食と命考える 養豚農家出身の芸術家 小野さん立体作品展」埼玉新聞 2016年10月25日(石井玲子)
・「食の踊りは不思議味 北浦和公園で〈草上の昼餐〉」埼玉新聞 2016年10月29日(米山士郎)

・「農作業通じ発想 田んぼでアート きょうまで見沼」朝日新聞 2016年11月12日(小笠原一樹)
・「稲作文化 後世に 見沼田んぼ わら塚(フナノ)復元」埼玉新聞 2016年11月15日(米山士郎、新井護)
・「“空飛ぶブタ”に笑顔 北浦和周辺で回遊美術館」埼玉新聞 2016年11月19日(江田崇)
・「身近なアート感じて SMF学校理事長 三浦清史さん」埼玉新聞 2016年11月21日(石井玲子)
・「週末の北浦和公園がポケモンGO並に賑わっている理由」そうだ埼玉.com 2016年11月25日(未衣子)
・「見沼田んぼ 伝統のわら塚 地元住民の手で(フナノ)復元」東京新聞 2016年12月6日(富江直樹)
・「見沼田んぼの冬の風物 農業文化の象徴(フナノ)」さいたま朝日 2016年12月25日号
・「燐炭作りの様子をアートとして展示」読売新聞 2017年1月15日(タウンリポーター・石川栄)
・「孫の発想に笑顔 浦和区 三世代でアート楽しむ」埼玉新聞 2017年1月19日(タウン記者・高田彰子)

■放送・放映

・ジェイコムさいたま 2015年12月26日～31日(期間中に計9回放送)「あなたと どこでも アート おかわりプロジェクト」(総集編・25分番組)

■SMF PRESS(本事業ニュース紙)

・26号(2016年7月) 「おかわりプロジェクト概要」／「プロジェクトMの〈中人〉になったことと、そのテンマツ」(津久井浩一)／「ラムダン・ファムスを作ってみよう! エジプトの食と文化展&講演・交流会」(草野律子)／「電子音響ビープルプロジェクト」(柴山拓郎)／連携美術館情報(小野寺茜)
・27号(2016年9月) 「さいたまトリエンナーレでSMFは学校をつくります! みんなのといわざ大集合!」(浅見俊哉)／「草上の昼餐」(藤井香)／「芸術の秋、食欲の秋 OMIYAプロジェクト／TANBOプロジェクト」(中村誠)／「〈花咲かアートさん〉プロジェクト。ご一緒に枯れ木に花を咲かせましょう!」(中村誠)／連携美術館情報(小野寺茜)
・28号(2017年1月) 「SMF学校修了式が賑やかに行われました!!」(浅見俊哉)／「おもむきコロリン、おなかの旅」(藤井香)／「回遊美術館Ⅲ」(中村誠)／連携美術館情報(小野寺茜)
・29号(2017年3月下旬発行予定)

文化庁 平成28年度 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

あなたと どこでも アート／おかわりプロジェクト 記録集

発行：あなたと どこでも アート 実行委員会
〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1
埼玉県立近代美術館内
Tel:048-824-0111
編集：あなたと どこでも アート 運営委員会、SMF(Saitama Muse Forum)
(担当：大越久子、菖蒲澤侑、中村誠)
印刷：光村印刷株式会社
グラフィックデザイン担当：有限会社アームズ(中村隆)
Webページデザイン担当：デザイン工房さら(木村昭司)
写真撮影：中村元
平成29年3月11日発行

SMFは身近な場所でアートを享受し支援し
再創造するプラットフォームをめざしています。
<http://www.artplatform.jp>

SMF
Saitama Muse Forum